

表1 最終需要項目別の日本経済(株式会社三菱総合研究所)

(单位：10億円)

	昭和 49年度	50	51	52	53	对前年度增加率			
						49-50	50-51	51-52	52-53
(実質)									
個人消費支出	47,501.7	50,045.0	52,047	54,910	56,997	5.4	4.0	5.5	3.8
政府経常購入	7,640.5	8,101.5	8,417	8,821	9,173	6.0	3.9	4.8	4.0
民間設備投資	15,898.8	14,211.7	14,055	15,489	16,341	△10.6	△ 1.1	10.2	5.5
民間住宅投資	5,812.4	6,546.3	6,880	7,430	7,995	12.6	5.1	8.0	7.6
在庫投資	2,625.7	1,185.6	1,721	2,043	1,849	△54.8	45.2	18.7	△ 9.5
政府固定資本形成	8,261.1	9,116.9	9,773	10,457	11,168	10.4	7.2	7.0	6.8
輸出等	13,990.2	14,565.5	16,707	18,344	19,023	4.1	14.7	9.8	3.7
輸入等	11,462.4	10,715.9	11,273	12,186	12,698	△ 6.5	5.2	8.1	4.2
国民総支出	90,268.0	93,056.6	98,327	105,308	109,848	3.1	5.7	7.1	4.3
(名目)									
個人消費支出	73,448.5	84,772.0	94,351	104,730	114,784	15.4	11.3	11.0	9.6
国民総支出	136,339.3	149,092.3	167,132	188,860	208,690	9.4	12.1	13.0	10.5
鉱工業生産指数	117.1	112.9	120.2	129.7	136.1	△ 3.6	6.5	7.9	4.9
卸売物価指数	154.8	158.1	167.6	176.6	184.6	2.1	6.0	5.4	4.5
消費者物価指数	159.6	176.2	189.1	200.2	212.6	10.4	7.3	5.9	6.2

びるということではありません。
それから、耐久消費財も優先度の低い群に入っています。
と言って、優先度の高い商品はよく、低い商品はダメだと言つて
いるではありません。商品のタイプとして、こういう大きな分け
方ができ、しかも、これから先も大体そのままの形で
余り大きさは変わらないのではないかということです。

消費財の中で自動車やカラーテレビがなぜ売れているのか、と問題に注目していただきたいです。

私は、商品の開発力によって市場の拡大が可能な商品と、しない商品があると思います。例えば、洗濯機とか冷蔵庫。いうものは、全自動ができた、堅形ができたとか、一寸大きだとか言つても、余りピンと来ません。洗濯機は廻つていれるものだと、冷蔵庫は冷いが出ればまだ使えるものだと

うで て市 ので いう テレ 感覚があります。したがって、耐用年数ギリギリまで使ってしまいます。その意味では、耐用年数だけに絞って更新需要を考え、商品の開発を考えればよいのであって、それ以外にそれほど力を入れても市場の拡大には余りつながらないつまり、努力するほどには余りつながらないといつてひとことか、大きなメリットはないといつてひとことか、いきなり言えます。ところが、自動車は、耐用年数だけから言えば、乗ればよいといつことになりますが新しい形のものでは、タイルが出ますと古い形のものは

用のもので、市場の拡大も可能だということです。カラーテレビもそうです。最近のテレビの方が色がよさそうだから、スタイルがまさうつたどりになりますと、商品の開拓ができます。クイントリックスで、新しい需要を生み出すことができます。トリニティロンで色が鮮明だとい

期があるとすれば、来年が一番景気の上昇がハッキり出ますので、ころうかと思いますので、少くとも来年は二桁になる可能性がありまつた。ですが、それは最後の二桁ではなくて、もう少し伸びる可能性があります。一桁の収入増に見合う消費の伸びであるという意味で、全体の市場の拡大は非常にむづかしく、その中で、伸びる分野、伸ばせる分野、というものを、企業の皆さん方がきめこまかく調べる必要があるのではないかと考へます。

十一年度もマイナス一・一%といふことで、設備投資関連に携つておられる方々は、今年も我慢の年で、もう一年頑張つていただかないと困ります。ただし、この見方は控え目な見方で、日本経済新聞では今年はプラスにならるという見方をしています。そこで、私が今からその要因を申上げますので、私と意見の異なる方は、もっと明るい見通しを立てていただければと思います。

二番目の要因は、利潤原理と言つていますが、新しい設備投資をするには、利益を或る程度あけていなければ、その欲意が出てこないというのです。

表2を見ますと、増益率がベラ棒に高い数字になっていますが、利益水準はまだまで、水面から出ているかどこか疑問であって利益水準から言って、設備投資が動き出すのは、今年の秋か、五十年に入つてからではないかと思ふのです。

す。
小売業というのは、店舗の設置とか、ショーウィンドウなどです
が、デパートやスーパーの増設がまだ進んでいますので、これは実質
は五十一年度のリーディング産業です。
五十二年度になりますと、この中から、ガスと電力が残り、自動
車と家電が入ってきます。

個人消費支出が家計の構
わすとすれば、民間設備投資
企業の構造をあらわす最も
指標です。皆さんの企業が
を作つたり、工場を作つた
ものと関連する業種ですと
民間設備投資の動きが最も
大きいです。
この民間設備投資が活発化
すると、企業全体のムードが

士であつて、消費支出のとみて
さん。
買つた
ますが、
トは余
の殆ん

十一年度もマイナス一・一%といふことで、設備投資関連に携つておられる方々は、今年も我慢の年で、もう一年頑張つていただかないと困ります。ただし、この見方は控え目な見方で、日本経済新聞では今年はプラスにならるという見方をしています。そこで、私が今からその要因を申上げますので、私と意見の異なる方は、もっと明るい見通しを立てていただければと思います。

二番目の要因は、利潤原理と言つてますが、新しい設備投資をするには、利益を或る程度あけていなければ、その欲意が出てこないという事です。表2を見ますと、増益率がベラ棒に高い数字になっていますが、利益水準はまだまで、水面から出ているかと疑問であって利益水準から言って、設備投資が動き出すのは、今年の秋か、五十年に入つてからではないかと思ふのです。

す。
小売業というのは、店舗の設置とか、ショーウィンドウなどです
が、デパートやスーパーの増設がまだ進んでいますので、これは実質
は五十一年度のリーディング産業です。
五十二年度になりますと、この中から、ガスと電力が残り、自動
車と家電が入ってきます。

(次頁へ)

(前頁より)

私は、ボシャルとまでは言わないのですが、一寸低迷するのではないかと思います。それはこの橋渡しが余りうまくいかないのではないかということ、五十三年頃は世界の景気が下かる時期だとみているからです。

これは申上げるまでもなく、民間住宅投資

間の住宅関連投資です。

在庫投資

原材料の在庫の積み増し或いは減りしかつ、製品在庫、流通在庫等、すべての在庫の動きをあらわしますので、景気の動きを最も端的に示す指標として、見ていただきたい。ただし、在庫は非常に増減が激しくしかも、全体に占めるウエイトも小さいので、全体を見る上では余りよい資料ではありませんが、景気の敏感さを見る上では非常に面白い指標です。

政府固定資本形成

政府がお金をして学校を作ったり、新幹線を作ったり、港を作ったりするものすべてが、これにあります。

ですから、政府関連の仕事をされている場合には、この動きを見ると、自分の業界のこれから姿が、或る程度判断ができるのではないかと思います。

現在の日本経済を支えているのは輸出ですが、この輸出は、今までのよう伸びは期待できないにしても、暫くは好調を持続できるのではないかと思います。

輸出の動向を見る場合、一つは

世界景気の動向で、もう一つは日

本の競争力の問題です。

先ず世界景気ですが、ご存知の

ように、アメリカが予想以上に景

度しが余りうまくいかないでは

ないかと思います。それはこの橋渡しが余りうまくいかないのではないかということ、五十三年頃は世界の景気が下かる時期だとみているからです。

これは申上げるまでもなく、民間住宅投資

間の住宅関連投資です。

在庫投資

原材料の在庫の積み増し或いは減りしかつ、製品在庫、流通在庫等、すべての在庫の動きをあらわしますので、景気の動きを最も端的に示す指標として、見ていただきたい。ただし、在庫は非常に増減が激しくしかも、全体に占めるウエ

イトも小さいので、全体を見る上では余りよい資料ではありませんが、景気の敏感さを見る上では非常に面白い指標です。

政府固定資本形成

政府がお金をして学校を作ったり、新幹線を作ったり、港を作ったりするものすべてが、これにあります。

ですから、政府関連の仕事をされている場合には、この動きを見ると、自分の業界のこれから姿が、或る程度判断ができるのではないかと思います。

現在の日本経済を支えているのは輸出ですが、この輸出は、今までのよう伸びは期待できないにしても、暫くは好調を持続できるのではないかと思います。

現在の日本経済を支えているのは輸出ですが、この輸出は、今までのよう伸びは期待できないにしても、暫くは好調を持続できるのではないかと思います。

日本の鉄鋼がなぜ安いかと申し

て、その若手の後進性から言つても、まだまた合理化の余地はあると思

いますし、その合理化を通しては若干楽観的な見方をしますと、

それが表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

以上、国民総支出の内訳の各項目について説明申上げたのです

向から言つて、マクロでは六・七

三月期には二〇・〇%ぐらい伸び

するというものが、製造業の平均

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

それが表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るというが、製造業の平均であ

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

結果的には、勿論、鉄は確かに

よいのです。

日本の鉄鋼がなぜ安いかと申し

て、その若手の後進性から言つても、まだまた合理化の余地はあると思

いますし、その合理化を通しては若干楽観的な見方をしますと、

それが表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつて、この数字を見く

べき色と読むのではなく、確かに伸びを示すといつてです。

しかし、今までに如何に赤字会社が

見方でした。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

これが、表1の三義紡の控え目な見

方の数字を、一般論と申しますか

と申します。

しかし、今申上げた数字で見る

うかという意味で、国際収支の問

題については比較的楽觀してい

るといつて、この間にものすごく

インフレが渗透していますので、

利益を実数に換算した場合は、四

十八年九月期には全く程遠いと言

うねばなりません。

したがつ

表2 業績総括表（週刊東洋経済）

51.6.26

業種	社数	売上高の対前期比 増減率(%)			前年同期 比(%)	経常利益の対前期比 増減率(%)			前年同期 比(%)	純利益の対前期比 増減率(%)			前年同期 比(%)
		51.3	51.9(予)	52.3(予)		51.3	51.9(予)	52.3(予)		51.3	51.9(予)	52.3(予)	
水産・農林業	15	(-) 53.7	113.3	(-) 58.8	(-) 4.7	63.1	(-) 54.7	(-) 55.0	(-) 57.9	149.2	(-) 68.6	(-) 50.0	(-) 66.4
鉱建食料	23	10.6	(-) 5.8	9.7	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-
化織紡	17	16.4	(-) 10.7	24.6	7.9	22.6	(-) 15.0	35.8	5.2	14.4	(-) 13.6	32.7	7.3
その他	1	1.5	9.8	(-) 8.8	5.7	-	35.0	23.9	212.0	-	85.4	44.5	917.7
合織	8	8.6	0.7	6.2	8.0	-	-	386.3	-	-	(-) 59.7	247.3	1,027.8
その他	2	20.4	8.5	5.8	22.0	-	(-) 5.7	100.0	1,246.2	-	(-) 46.4	75.0	54.1
バブル	14	9.3	5.2	6.8	13.6	-	-	241.5	-	-	(-) 87.2	522.2	59.3
化学生	32	11.5	3.4	9.1	13.9	-	-	-	-	-	3.5	121.7	6,924.1
医薬品	12	3.1	6.4	2.7	9.5	(-) 3.6	3.0	3.7	3.0	12.4	(-) 14.1	8.1	(-) 5.4
その他	7	10.4	3.8	6.9	12.0	-	361.3	48.1	3,539.7	114.8	(-) 4.0	40.7	57.7
石油・石炭	8	21.4	(-) 8.3	21.1	11.2	-	-	180.2	-	-	(-) 87.8	195.8	-
ゴム	5	5.0	7.5	4.9	12.8	(-) 5.9	21.0	49.3	46.2	(-) 4.1	1.8	55.4	27.2
窯業	14	7.8	4.9	8.7	13.6	-	98.4	62.0	436.7	755.9	(-) 17.4	42.3	79.2
普通鋼	20	(-) 2.8	5.9	18.0	13.8	-	63.7	119.9	-	223.0	78.7	(-) 7.7	162.4
特殊鋼	11	8.1	0.9	7.7	8.9	-	-	-	-	-	-	-	-
非電金屬	10	8.5	11.4	6.5	19.7	-	-	-	-	-	-	-	-
電工機器	6	7.9	10.3	11.0	20.8	-	147.5	84.1	6,616.4	-	17.6	42.0	203.4
作業機械	10	(-) 3.2	11.5	(-) 2.4	8.4	(-) 38.5	87.1	(-) 19.1	28.9	609.4	(-) 76.6	(-) 2.1	(-) 59.4
総合機械	10	(-) 0.1	11.7	5.7	14.8	-	-	-	-	-	-	-	-
産業機械	29	1.7	8.7	7.1	13.5	15.3	7.8	24.7	29.8	0.8	16.5	25.8	32.1
総合機器	12	5.6	3.0	7.7	9.9	94.5	10.2	31.0	68.1	95.6	3.1	31.0	57.6
通信機器	11	7.7	3.4	14.2	14.9	28.5	2.1	55.1	46.4	31.0	7.7	26.8	38.5
造船機器	19	16.8	15.6	6.8	28.7	112.9	29.0	24.0	96.6	135.8	20.6	29.9	94.7
船舶機器	8	9.2	(-) 0.5	11.7	9.9	7.0	2.8	(-) 2.5	5.0	25.7	(-) 12.2	1.5	(-) 1.5
自動車	2	3.2	2.3	9.4	8.8	20.8	(-) 12.7	34.8	12.1	4.7	(-) 6.7	34.0	11.6
精密機器	23	8.7	7.5	3.5	14.0	31.0	0.5	5.4	17.0	52.0	(-) 7.1	6.5	15.7
その他	14	7.9	8.9	5.9	16.4	109.2	6.4	17.4	56.6	176.4	4.5	11.4	62.3
商	5	0.7	5.0	11.8	11.5	-	-	137.7	-	-	-	355.8	-
自動車	32	5.0	2.4	9.1	9.7	(-) 20.0	46.6	32.9	51.8	(-) 16.0	19.4	61.6	42.6
陸運	9	9.5	4.7	7.7	13.7	35.4	(-) 5.7	32.5	26.1	75.5	2.6	30.2	50.5
海上運	15	10.3	(-) 0.3	7.0	8.2	30.0	19.9	(-) 21.3	21.1	15.0	(-) 5.7	15.2	8.5
空運	6	4.9	(-) 0.2	3.5	4.0	-	-	3-	-	(-) 31.0	-	-	3.6
倉庫・輸送	2	6.3	4.8	3.3	9.8	-	-	107.7	-	-	(-) 58.3	77.8	86.9
通信機器	6	2.2	2.4	2.6	4.9	6.5	(-) 5.7	16.4	5.2	(-) 2.4	2.7	8.3	5.7
ガス	3	6.3	3.1	3.0	8.1	28.4	(-) 21.8	7.7	(-) 8.7	13.3	(-) 9.5	9.9	0.9
サービス	3	27.8	(-) 17.0	27.0	5.7	747.9	-	-	(-) 52.3	58.5	-	-	(-) 38.8
全産業	419	6.3	2.4	9.8	10.7	144.0	19.7	65.0	125.0	206.6	(-) 22.9	69.9	56.8
除く海運・ガス	410	6.2	2.6	9.8	10.8	145.9	27.7	57.0	133.3	205.2	(-) 15.5	53.9	61.5
製造業	310	6.9	3.9	10.0	12.8	1,013.7	40.4	70.5	248.4	665.1	(-) 19.9	57.2	82.3
非製造業	109	5.9	1.4	9.7	9.4	12.3	(-) 11.4	52.0	18.2	16.6	(-) 31.4	110.3	14.7
除く海運・ガス	-100	5.7	1.7	9.7	9.6	7.5	6.8	27.6	25.8	(-) 0.7	(-) 0.7	44.8	21.2

1. 3月決算553社のうち、9月年1回決算、年2回決算および変則決算会社と、中間利益が税引き前利益の会社を除く419社の集計。
2. (-)印は増減比較不能。前期比は半期ベースで算出。

物価と賃金

(前頁より)

・九%, それから二九・〇%, 二四・〇%と続き非常に好調で、自動車を見ますと、三一・〇%, 〇・五%, 五・四%と横並みみたい形になっていますが、実は利益水準が高い高原状態の横ばいで、鉄鋼のように上がつてもまだまだ利益水準が低いのは、全然異質のものであると見ていただきたいのです。

関連の方々は、景気の回復が一番遅れる業界であるということをハッキリ認識していただきたいと思います。したがって、ポイントは、現在のことと、産業全体として来年の三月決算にならないとよくなつてこないということですので、今年度の下期、遅れば来年度に入つてからやっとマイクロベースで回復のキサンがハッキリすると見ていただいてよいかと思ひます。

いずれにしましても、工作機械われわれが予想している以上にインフレが加速するとみていただきたいと思います。

われわれが予想している以上にインフレが加速するとみていただきたいと思います。

卸売物価には三つの要因があつて、一つは原材料価格、二つ目は貿易コスト三つ目が露頭関係で、この三つの影響力は三分の一です。それで、皆さんも一緒に是非考えていただきたいのです。

原材料価格

日本国内で自給できる原材料は米と石灰岩の二つだけで、あとは海外に依存していますので、海外の動向如何ということです。

海外の原材料等の動向を見るには、ロイターコンサルティング指標数をみると、これが一番よいと思います。これは日本経済新聞の夕刊の四面ぐらいに国際商品というのがありますが、その最後に出ています。毎日見ていただく必要はありませんが、一週間に一回ぐらい見ていただきますと、皆さんのお仕事の上で、非常に役に立つのではないかと思います。

このロイターコンサルティング指標数は、一九三一年九月十八日を一〇〇として、雨の日も風の日も、延々として発表されていますが、一九二年にやっと五〇〇になつたと言つたらおかしいですが、約四十年たつて、五倍しか上がっていない、ソフレは加速化し、日本国内でも

飼料物価には三つの要因があつて、一つは原材料価格、二つ目は貿易コスト三つ目が露頭関係で、この三つの影響力は三分の一です。それで、皆さんも一緒に是非考えていただきたいのです。

飼料物価

日本国内で自給できる原材料は米と石灰岩の二つだけで、あとは海外に依存していますので、海外の動向如何ということです。

海外の原材料等の動向を見るには、ロイターコンサルティング指標数をみると、これが一番よいと思います。これは日本経済新聞の夕刊の四面ぐらいに国際商品というのがありますが、その最後に出ています。毎日見ていただく必要はありませんが、一週間に一回ぐらい見ていただきますと、皆さんのお仕事の上で、非常に役に立つのではないかと思います。

このロイターコンサルティング指標数は、一九三一年九月十八日を一〇〇として、雨の日も風の日も、延々として発表されていますが、一九二年にやっと五〇〇になつたと言つたらおかしいですが、約四十年たつて、五倍しか上がりていない、ソフレは加速化し、日本国内でも

年の中には、これが一挙に一、四〇〇まで上がつたのです。例の石油ショックによる高騰です。そして、一九七四年二月には一、四九〇まで上がったのですが、石油ショックによる世界的な不況のため、一九七五年には一、〇九〇まで下がつたのです。

ところが、アメリカの景気がよくなってきたためにまた、あつと言う間に一、五〇〇に上り、現在では一、五一二ぐらいになっています。

ということは、これから原材料は上がつてくるということです。おそらく、あと二ヶ月のうちに、鉄鉱石は勿論のこと、非鉄金属その他、金部上がつくると思います。

問題は、どこまで上がるかといふことです。私は今年度中には一、六〇〇にはならないだろうとみています。もうそろそろ頭打ちになると思っています。

もし仮りに、この秋ころまでに一、六〇〇を超えるようなことがあつた場合は、石油ショックとまことに、棉花とか、小麦とか、銅とか、その一つは、原油です。これはOPECが決めていますので、市場では決まりないということで入っていません。しかし、OPECの戦略は基本的には先進国のインフレにスライドさせることになつてますので、OPECの動きはこのロイターコンサルティング指標数の動きを見れば大体わかります。

それから、あの二つは鉄鉱石と原料炭です。この二つは、ご存知のように、メーカーと長期販売契約されているので、余り相場で動かないということです。ロイターコンサルティング指標数の中には入っていない商品相場指標の中には入っています。もちろん、結果的には、やはりその動きが投影されるということです。

一方からみて、日本の輸入物価はこれから急激に上がつくるのみで、これが急速に上がつくる好みで、日本はおまけでございます。

署中御見舞申上けます

(五十音順)

株式会社 旭川製作所
尼寺空圧工業株式会社
合資会社 大津鉄工所
大野化学機械株式会社
株式会社 弘機商會
坂口精密工業株式会社
三栄工機株式会社
昭和精密工業株式会社
秀和工業株式会社
伸栄工業株式会社
太産工業株式会社
大東機械株式会社
株式会社 竹中機械製作所
炭研精工株式会社
ティ・ヴィ・バルブ株式会社
東豊工業株式会社
東亜株式会社
株式会社 藤栄製作所

株式会社 東京精密器具製作所
東京索道株式会社
株式会社 ハーマン株式会社
株式会社 鳥海製作所
長坂精機株式会社
株式会社 中谷機械製作所
日本ギヤーン無段变速機株式会社
深尾精機株式会社
藤田工業株式会社
株式会社 藤原製作所
合資会社 古川機械製作所
株式会社 ヨシヅカ精機
電氣機械器具製造業
東電機産業株式会社
出雲電機株式会社
株式会社 小林電機製作所
株式会社 コロナ電業社

株式会社	東 倉
株式会社	中山電機工芸社
永 森 電 機 株 式 會 社	電
深尾電線製造株式会社	舍
輸送用機械器具製造業	
株式会社 大 谷 造 機 所	
西野機械工業株式会社	
株式会社 日 伸 製 作 所	
合資会社 ユタカ製作所	
岩佐工機株式会社	
合資会社 佐々木発条製作所	
関屋窯炉工業株式会社	
同 和 発 条 株 式 會 社	
株式会社 羽田発条製作所	
株式会社 羽田パイプ製造所	
有限会社 早崎製作所	
鍛 造 業	
株式会社 愛 国 鍛 工 所	
株式会社 安 藤 鐵 工 所	
有限会社 本 庄 鉄 工 所	
有限会社 武 藤 鉄 工 所	
株式会社 赤 井 製 作 所	
株式会社 内 田 製 作 所	
江崎工業株式会社	
岡田鋳金株式会社	
株式会社 プレス・鋳金業	

株式会社 协和鋳金株式会社	清川製作所
株式会社 新海製作所	清水鐵工所
信光工業株式会社	日本中空鋼株式会社
株式会社 東亜製作所	株式会社 蝶田電機製作所
日本中空鋼株式会社	株式会社 新井久四郎鉄工所
株式会社 蝶田電機製作所	岡本工業株式会社
新井久四郎鉄工所	鍛金業
岡本工業株式会社	鍛金業
新井久四郎鉄工所	エビナ電化工業株式会社
寺田ケミカル工研	有限公司
三陽ダイカスト工業所	東洋防錆工業株式会社
有限公司	有限公司
東洋防錆工業株式会社	京浜鑄造所
杉谷金属工業株式会社	有限公司
熱処理業その他	有限公司
株式会社 大同熱処理工業所	株式会社 東京ハードフェイシング
株式会社 氣球製作所	株式会社 城南木工株式会社
株式会社 城南木工株式会社	ナショナルベンディング株式会社